

09-03-04 1～4歳の死亡原因の変化

“はしか(=麻しん)”や“下痢・嘔吐”の死亡順位の変化

(ワクチン・点滴の効果)について注意してみてください。

1～4歳死因別死亡順位

予防接種と点滴の効果を見て下さい

年次	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
1960(昭35)		☆	●		▲					
1965(昭40)		☆	●			▲				
1970(昭45)			☆		●	▲		●		
1975(昭50)			☆				▲	●		
1980(昭55)				☆						●
1980(昭60)				☆						●
1985(平2)						☆				▲
1990(平7)				☆						▲

↑ 子どもに点滴できず・麻しんワクチンなし

↓ 1968年～子どもに点滴が出来るようになる

↓ 麻しん(；M)単独；1978年より定期接種

↓ 麻しん+風しん+おたふくかぜ混合(MMR)に変わる

↓ 2006年以降麻しん+風しん(；MR)に変わる

☆	気管支炎・肺炎
●	下痢・嘔吐・脱水
●	1967年(昭42)翼状針が発売され、小児にも輸液(点滴)可能となる
●	
▲	麻しん(はしか)；▲1978年；定期接種となる
▲	平成1～5年MMR(麻しん・風しん・おたふくかぜ混合ワクチン)実施 ／おたふくかぜの副作用により1993年には事実上中止された
▲	⇒以後、MR(麻しん+風しん)で実施されている

【定期予防接種】

感染症対策上、重要度が高いと考えられる**予防接種**については、**予防接種法に基づき**、国民に対し、予防接種を受けることが勧められ、行政の費用負担による予防接種が行われています。このうち、**一定の年齢**において**接種を受けること**とされているものが**【定期予防接種】**といわれるものです。